

科目名称	成人看護学Ⅱ(周手術期看護)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	小路 陽子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

周手術期にある患者とその家族に対して、合併症の予防や回復の促進に必要な援助・精神的看護の方法を学習する。なかでも、手術による合併症の予防・セルフケア能力の回復・健康管理方法の習得に関して看護過程の展開を行い、周手術期における具体的な援助内容を考える。

【2】学習目標

1. 周手術期の経過と看護の特徴について説明することができる。
2. 手術を受ける患者および家族を身体的・精神的・社会的側面より捉えることができる。
3. 手術による身体侵襲と、それによっておこる生体反応について説明することができる。
4. 術後の合併症について理解し、その予防方法・観察点を説明することができる。
5. 患者及び家族の心理状態が理解し、精神面の援助方法を述べることができる。
6. 周手術期患者の看護展開を通し、具体的な援助内容を考えることができる。
7. 手術後の患者に対して日常生活援助が実施できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	周手術期看護の考え方	講義
2	手術前の看護	講義
3	手術中の看護①	講義
4	手術中の看護②	講義
5	手術による身体侵襲と術後合併症	講義
6	手術後の看護	講義
7	開腹術を受ける患者の看護	講義
8	開胸術を受ける患者の看護	講義
9	開心術を受ける患者の看護	講義
10	開頭術・女性生殖器の手術を受ける患者の看護	講義
11	人工肛門造設患者の看護	講義
12	人工骨頭置換術を受ける患者の看護	講義
13	術後患者の観察と早期離床に対する援助①	演習
14	術後患者の観察と早期離床に対する援助②	演習
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

ペーパーテスト 70%、課題・演習 30%で総合的に評価する

【6】教科書

池上徹・高橋則子:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (第12版) 医学書院 2026 (電子版)
 北川雄光・江川幸二:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 (第10版) 医学書院 2026 (電子版)
 竹内登美子:術中/術後の生体反応と急性期看護 (第3版) 医歯薬出版株式会社 2020

【7】参考書

小野寺久:ナースのためのやさしくわかる手術看護 ナツメ社
 中島恵美子:ナースング・グラフィカ周手術期看護 メディカ出版 他随時紹介

【8】受講生へのメッセージ

手術侵襲の大小に関わらず、手術を受ける患者さんは、不安を抱えています。術後の合併症を理解し、患者さんに安全・安楽な看護を提供できるように学習しましょう。3年次に行う成人看護学実習Ⅱ(急性期・周手術期看護学実習)で活かせる知識を身につけましょう。